

加曽利貝塚新博物館整備事業に関する報告

事業者（コンソーシアム）を選定するため、令和5年6月に下記の入札公告を行ったものの、参加事業者ゼロのため中止した。新博物館整備には展示室の設計施工が伴う。考古歴史系の展示ノウハウを持つ大手の事業者は3者程度で、これらの事業者を核としたコンソーシアムが応札するものと想定していた。しかし設備工事費を中心に建設費が高騰し、すべてのコンソーシアムが予定価格内の応札不可と判断して参加を見送ったことが、中止の原因である。

新年度は、整備予定地での環境調査（土壌汚染調査）や、新博物館での展示内容の検討など、入札と関係なく進めることのできる事業を継続していく。再公告については、条件面の見直しを検討したうえで実施する予定である。

令和5年6月の公告概要

縄文文化の研究とその成果を市民等に発信する拠点とするため、史跡のガイダンス機能等を備えた新たな博物館の整備を進める。

当初予算額 8,678,000千円 ※債務負担行為（期間：令和6年度～令和20年度）

事業期間 設計建設及び開館準備 令和6年度～令和10年度上期
維持管理及び運営 令和10年度下期～令和20年度

開館時期 令和10年秋

施設規模 敷地面積 18,967㎡
延床面積 4,980㎡（想定）